

6月24日に平成27年度独自目標監査及び平成28年度独自目標設定委員会が開かれました。

平成27年度監査結果

○第1ステージ第2ステップ

独自目標			LAS-E 規格項目別評価	
番号	内容	達成状況	規格番号 (部門)	評価
D101	温室効果ガスH25比較 1%減	×	1-12 (エコアクション)	× 勸告に値すべき点あり
D102	電気使用量H25比較 1%減	△		
D103	ノーマーカー・データー5月～10月間 1人6回	×		
D104	廃棄物排出量H25比較 4%減	×		
D105	公用車使用燃料H25比較 2%減	×		
D106	水道使用量H25比較 1%減	×		
D107	LAS-E 関係職員研修 年2回以上	○	1-23 (エコマネジメント)	○ 良好
D108	各課 LAS-E 取り組み内容の確認	○		
D109	環境ニュース 年3回以上発行	○	1-30 (エコガバナンス)	○ 良好

環境対策をしているか？

環境に配慮して行政運営しているか？

○第2ステージ第1ステップ

D201	個人住宅用太陽光発電導入助成件数 年10件以上	×	第2ステージ第1ステップ 2-12	○ 良好
D202	遊水公園清掃参加人数 1回50人以上	○		
D203	水辺イベントの開催 年1回以上	○		
D204	1人1日当たりのゴミの排出量 H17年度対46%減	×		
D205	地産地消を促す場づくりの事業開催 年1回以上	○		
D206	土幌町環境マネジメントシステム推進本部会議 年2回以上開催	○		
D207	環境に関する意見交換 年1回以上	○		

町民・事業者との環境政策を実施しているか？

役場庁舎の蛍光灯をLEDにかえたことで電気使用量の削減効果が数値にでてきている・・・
ハード面での取り組みも大切ということなんだ・・・！



○所見

全体として第1ステージのエコアクションについては×、エコマネジメントとエコガバナンスが○、第2ステージについては○としました。

第1ステージのエコアクションについては、6項目すべてが未達成で、うち電気使用量のみが総量は減少し、他の項目はすべて総量も増加しておりましたので×としました。エネルギーに関してみると、本庁舎は改修により蛍光灯をすべてLEDに変えたため、電気使用量が25%もの大幅な減少になりました。これに対し、価格の下落で一部学校において年度末に重油を大量購入したことにより、見かけ上の使用量が増加してしまいました。環境マネジメントシステムに取り組んで10年あまりが経過し、職員の努力でできることはやり尽くした感があります。今後はソフト面よりもハード面、すなわち本庁舎の改修が効果を上げたように、電灯やボイラー、空調などのエネルギー使用機器を高効率のものに変更したり、断熱効果を高めるなどの建物の改修を計画的に行っていくことが求められます。これらの設備更新・改修は、公共施設等総合管理計画とリンクした形で計画的に進めることをお勧めします。

一方、第1ステージのエコマネジメント、エコガバナンスについては目標が達成されていましたが、形式的なものにならないよう、中身の充実を心がけていただければ幸いです。

さらに第2ステージについては、7項目中5項目で達成されておりましたので、○としました。未達成だった個人住宅用太陽光発電導入助成件数については、買い取り価格の下落や新築住宅の減少が影響しており、やむを得ない面もあります。今後は太陽光発電のみならず、再生可能エネルギー導入や省エネルギーをトータルで支援していく方策を、環境基本計画の見直しの中で検討することで、社会情勢に即した目標項目に変更していくことをお勧めします。また、もうひとつの未達成項目である1人1日当たりのゴミ排出量についても、町民の意識・行動に左右される指標です。半減という高い目標を達成するには、ごみの組成や家庭属性別の傾向を分析した上で、より有効な対策を検討していただくことが必要と思われます。

来年度は環境自治体会議の全国大会が土幌町で開かれますので、環境宣言のまちとして全国にアピールできるよう、より充実した取り組みを目に見える形で実践していただくことを希望します。

平成 28 年度 独 自 目 標

○第 1 ステージ第 3 ステップ

		基準年度実績		目標値	
D 1 0 1	温室効果ガス H25-27 平均値	3,350	t-CO2	3,350	t-CO2
D 1 0 2	電気使用量 H25-27 平均値	2,598	Mwh	2,598	Mwh
D 1 0 3	ノーマーカーデー 5月～10月間 1人6回	82	%	100	%
D 1 0 4	廃棄物排出量 H25-27 平均値	9,355	kg	9,355	kg
D 1 0 5	公用車使用燃料 H25-27 平均値	28,046	リットル	28,046	リットル
D 1 0 6	水道使用量 H25-27 平均値	46,340	m ³	46,340	m ³
D 1 0 7	LAS-E 関係職員研修年 2回以上	2	回	全体研修 1	回
				実行責任者・環境マネージャー研修 1	回
D 1 0 8	各課 LAS-E 取組内容の確認	—	回	月 1回	回
D 1 0 9	環境ニュース年 3回以上発行	3	回	3回以上	回

○第 2 ステージ第 1 ステップ

D 2 0 1	個人住宅用太陽光発電導入助成件数 年 10 件以上	10	件
D 2 0 2	遊水公園清掃参加人数 1 回 50 人以上	50	人
D 2 0 3	水辺イベントの開催 年 1 回以上	1	回
D 2 0 4	1 人 1 日当たりのゴミ排出量 H17 年度対比 48%減	613	g
D 2 0 5	地産地消を促す場づくりの事業開催 年 1 回以上	1	回
D 2 0 6	士幌町環境マネジメントシステム推進本部会議 年 2 回以上開催	2	回
D 2 0 7	環境に関する意見交換 年 1 回以上	1	回

・・・平成 29 年度 環境自治体会議全国大会・・・

士幌町開催決定

環境自治体会議とは、環境政策に熱心に取り組む地方自治体のネットワーク組織です。全国大会では、環境政策や持続可能な地域づくりについての情報交換を行ったり、環境自治体会議や会員自治体が行っている政策成果の報告の場となっているものです。

当日は全国から延べ 1,000 人が訪れる大変大きな大会です。

一般の方の参加も可能ですので詳細が決まりましたら、役場だよりや環境ニュースなどで町民の皆様にお知らせ致します。

第 2 ステージでは、地域全体を対照する物となり、町の環境政策を推し進めるため、公共施設を利用される住民の皆様にも一層のご理解とご協力をお願いいたします。

※士幌町環境マネジメントシステムのホームページを公開しております(<http://www.shihoro.jp/env/>)

※目標達成状況について ○・・・良好 △・・・軽微だが改善すべき点有り ×・・・勧告に値すべき点有り